



みんなであすかる ～つながる防災プロジェクトN～

10・泉南市立西信達中学校
2023年度防災教育チャレンジプラン活動報告会
2024. 2. 10(月)



- 生徒数157名(令和5年度)
- 1小学校・1中学校
- 地域の絆が強い。
- 「誰か力になりたい」→中学生の力を地域に活かそう!

南海トラフ巨大地震

中央構造線断層帯地震

このあたりが
西信達です。

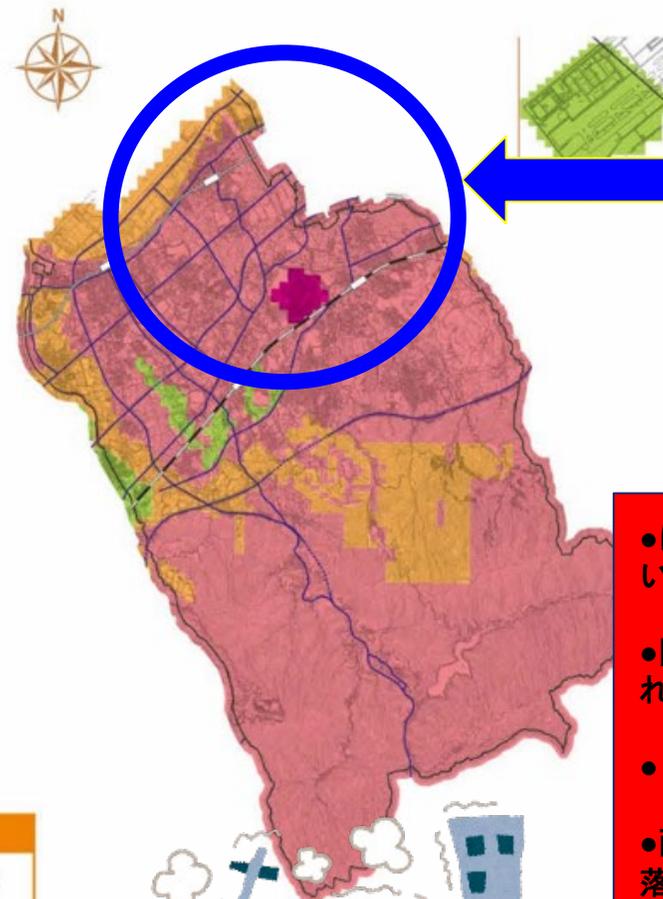
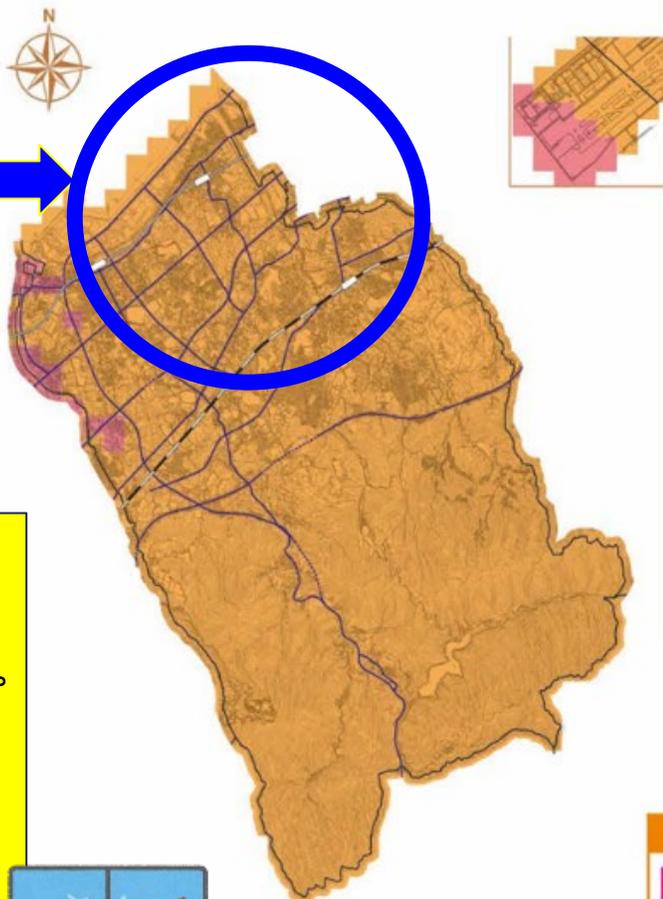
このあたりが
西信達です。

南海トラフ
最大震度
6弱

中央構造線
最大震度
6強

- 立っていることがむずかしい
- 固定していない家具の大半が移動。倒れるものもある。
- ドアが開かなくなることも。
- 壁のタイルや窓ガラスが破損。落下。
- 耐震性の低い木造の建物は瓦が落下したり、傾き倒壊のおそれあり。

- はわないとうごくことができない。とばされることもある。
- 固定していない家具が移動。倒れるものもある。
- ドアが開かなくなることも。
- 耐震性の低い木造の建物は瓦が落下したり、傾き倒壊のおそれあり。
- 大きな地割れが発生したり、大規模な地すべりや崩壊が起きる可能性。



震度	
震度7	震度6強
震度6弱	震度5強



災害対策等検討部会(大阪府)

出典 平成9年 大阪府自 策 製 (地震被害)



建物倒壊被害想定

南海トラフ

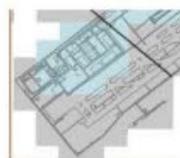
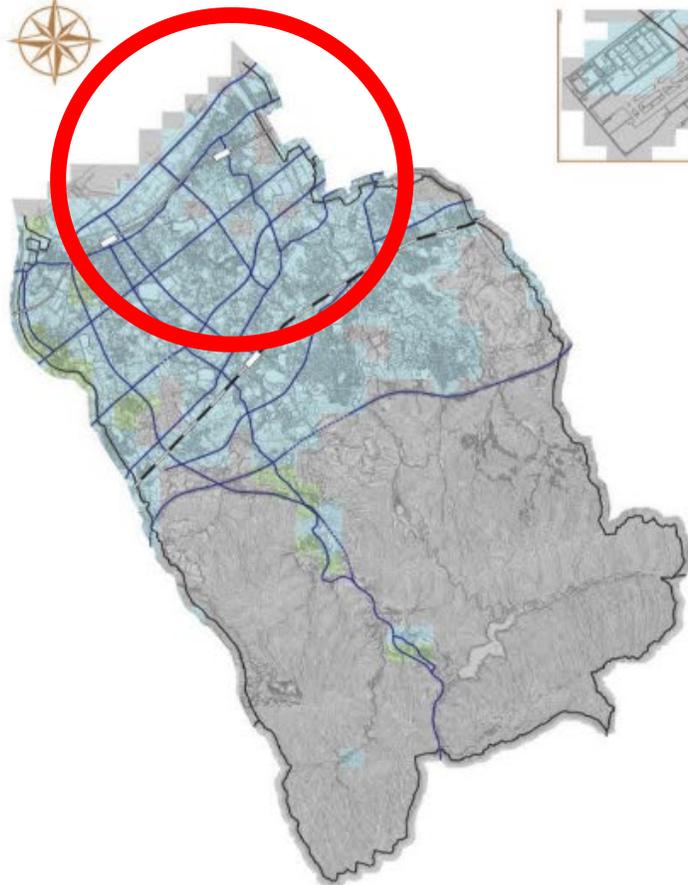
5%未満

中央構造線

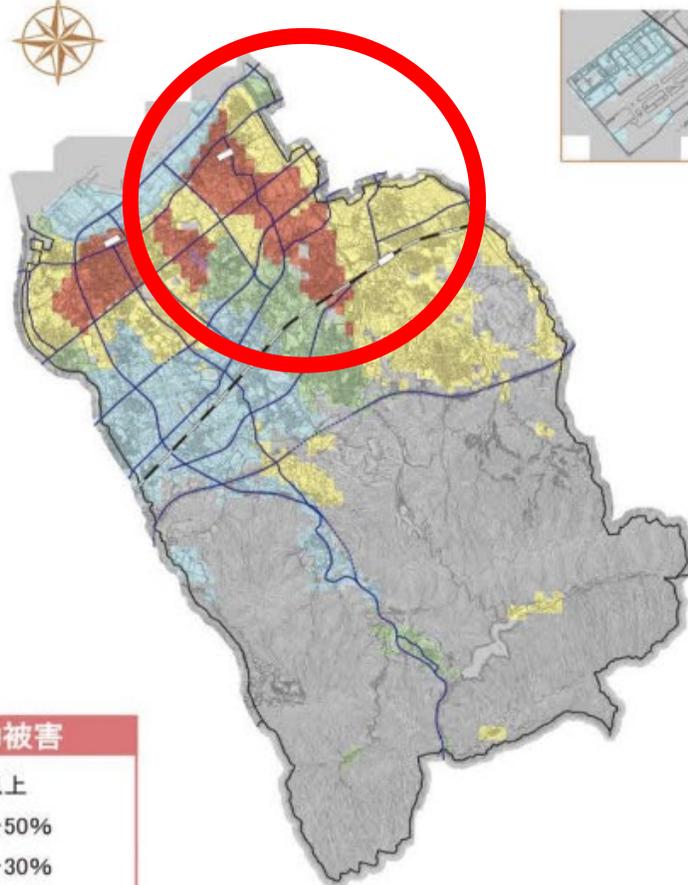
断層帯地震

10~50%

南海トラフ巨大地震



中央構造線断層帯地震



建物被害

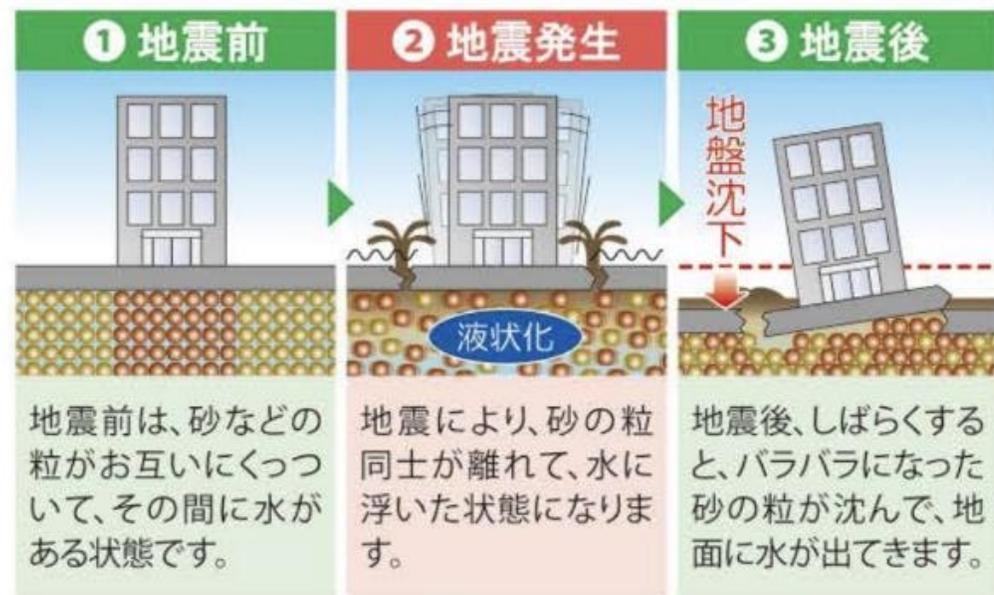
- 50%以上
- 30%~50%
- 10%~30%
- 5%~10%
- 5%未満
- 建物被害がない地域

出典：
平成25年10月
第4回南海トラフ巨大地震災害対策等検討部会(大阪府)

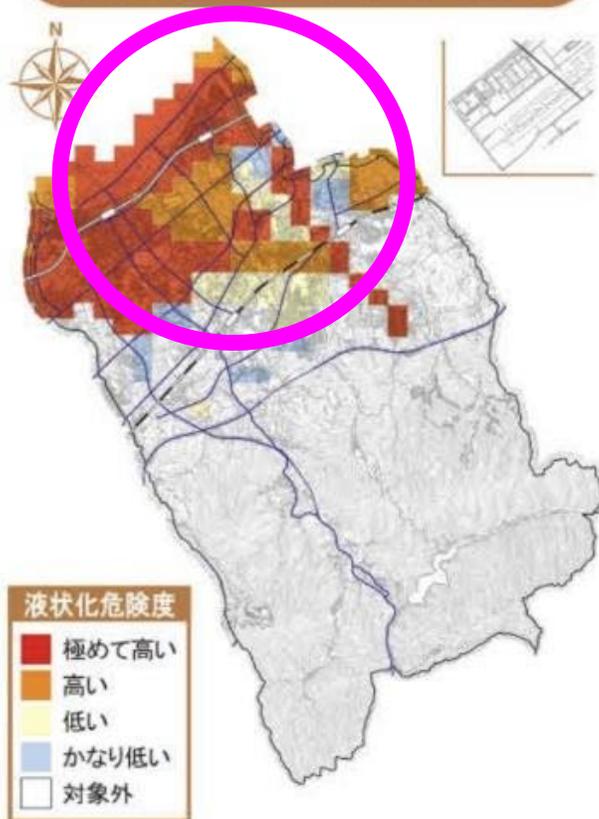
出典：
平成19年3月(平成23年 泉南市調製)
大阪府自然災害総合防災対策検討(地震被害想定)

液状化危険度

液状化現象とは、地下水位が高く、ゆるく堆積した砂地盤などが地震により激しく揺らされると、土の粒子が水と混ざり合っ、一時的に液体のようにやわらかくなることをいいます。

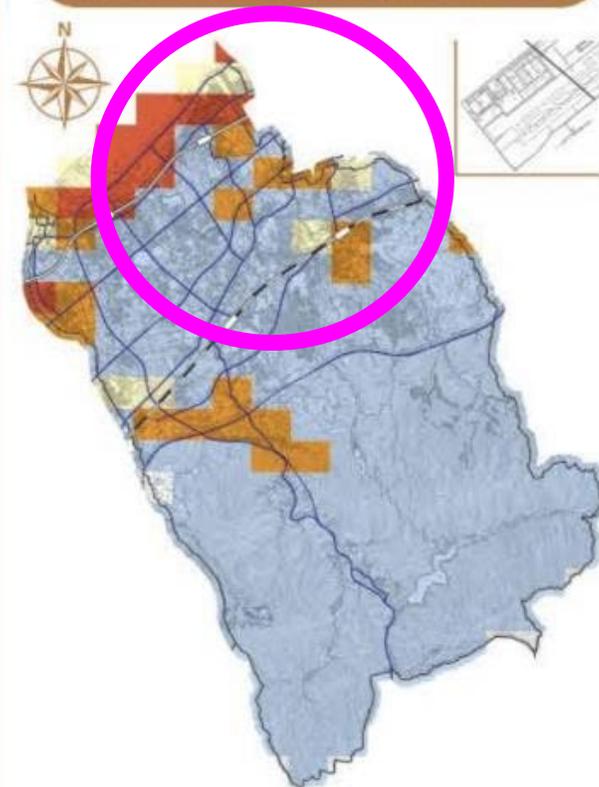


南海トラフ巨大地震



出典：
平成25年8月
第3回南海トラフ巨大地震災害対策等検討部会(大阪府)

中央構造線断層帯地震



出典：
平成19年3月
大阪府自然災害総合防災対策検討(地震被害想定)

中学校での防災学習



西信達ふれあいフェスタ2016



保小中合同避難訓練



HUG体験



防災ゼミ活動

災害時の食と生活環境

調理実習を数回行いました。



レシピ集作成
iPad、PCを利用しました。

開講科目名		主担当教員	
災害時の食と生活環境		中野・中口	
関連教科	技術・総合・家庭・レク	教室	2-B
授業形態	実習		
授業の概要・ねらい			
<p>①災害時での“食”をよりストレスが無く普段に近い生活を送るために防災食調理実習を行います。電気ガスが使えない場合のカセットコンロだけで作る料理などを通して事前準備に何が必要かなど考えていきます。</p> <p>②災害時に必要なものを木材などで設計→製作→改善をしていくことで災害時に困らない生活を送るための環境を作る実習を行います。</p> <p>③避難所で利用する簡易ベッドやテントなどの組み立てをして、避難所を運営できるようになる。</p> <p>④避難所で小さい子がリフレッシュできるレクや高齢者が体を動かすことができるレクを考える。</p>			
到達目標	災害時に安心して過ごせるようになるために考え製作できる。		
発表方法・共有方法		授業時間外での学修指示	
調理方法や作品を動画やスライドを利用して共有する。		料理を考えるなど毎時間課題があります。	
担当者からメッセージ			



いつでもどこでもおれらが食べさせる!





災害時に困らないように

防災レシピ集

泉南市立西信達中学校 食と生活環境ゼミ



大変な災害時でもできる

簡単！美味しい！

お湯ポチャ料理

ゼミのみんなと一緒に頑張って作りました！



nishishin

味噌汁

味噌がとても濃厚で
避難時でも栄養が
バランスよく取れます。



材料 (1人前)

- 味噌 適量
- 厚揚げ 一枚分
- ねぎ 適量
- 水 200ml

- 01 まずは材料を切ります。
- 02 耐熱性のある袋に水と味噌を入れます。
- 03 袋をしっかり輪ゴムで結びます。
- 04 沸騰したお湯に袋を横になるように入れます。
- 05 できたらお椀やコップに移して完成です。



nishishin

缶パンパイ クリームチーズ

防災用缶パンと缶パイとク
リームチーズこの3つの材料だけ。
華やかながら簡単に作れるため、
ぜひ作ってみてください。



材料 (1人前)

- 缶パン 1缶
- パイナップル 1缶
- クリームチーズ 4切れ

- 01 底から深めのお皿を用意します。
- 02 用意したお皿に缶パンを3分の2くらい敷き詰めます。
- 03 あらかじめ一口サイズに、切ったパイナップルを缶パンの上に置きます。
- 04 パイナップルの缶に入っている汁を入れて缶パンを浸します。
- 05 パイナップルの上に残りの缶パンをのせて、クリームチーズを手でちぎってのせて完成です！



助ける・助かる・繋がる



新聞で防災グッズ！



担架で人を運ぶのは大変でした



応急処置では頭・足・腕の固定方法を学びました



開講科目名		主担当教員	
助ける助かる繋がる		梶野・中口	
関連教科	保健体育・総合・多文化共生	教室	2A
授業形態	実技・実習		
授業の概要・ねらい			
<p>★怪我の応急処置に関する知識・技能を学びます。 ★実際に被災した時をイメージして、身の回りにある物だけで応急処置ができるように一緒に考え、実施します。 ★地域の応援団(特にイグラさん)に実技のポイントや応急処置の情報を聞き取る。 ★防災の観点だけではなく日常で自分が怪我をした・怪我をしている人がいる場合にも率先して助ける・助けられるリーダーを育てます。 ★他の文化を認め合い避難所のブースの工夫を考える。</p>			
到達目標	身の回りにある物だけで怪我をしている人の応急処置をする事ができる。 被災した際に小さい子供からお年寄り、そして外国の方が安心できるような声掛けができる。(繋がり)		
発表方法・共有方法		授業時間外での学修指示	
ゼミごとの発表で他のゼミに教える 西信地域フェスタでの発表		Pow pointの作成・編集	
担当者からメッセージ			
「自分自身を守る・大切な誰かを助ける」為に学んでいきます!			



どんな人でも安心できる防災に!

防災ユニバーサル

アイマスク体験



手すりの
ありがたさが
わかった

音に敏感になりました。
大きい音は不安になります。

車いす体験（学校）



段差は前輪をあげて

車いす体験 （地域フィールドワーク）



目線を合わせて、お願いします。
（会話を大切に！）

認知症講座

- ・優しい気持ち
- ・3つのない



開講科目名		主担当教員	
防災ユニバーサル		溝畑・中口	
関連教科	理科・総合・支援教育	教室	
授業形態	ディスカッション・演習・実習		

授業の概要・ねらい

★**防災のユニバーサルデザイン**を考えます。
 ★西信達校区で発生することが考えられる災害について知るところからスタートする。その災害からどのように身をまもればよいかを考える。
 ★**災害弱者(災害時要支援者)のことが考えられている計画になっているか検証**する。
 ★災害弱者の立場に立ったフィールドワークを実施。どのあたりが、逃げる際の障害になるのか、調査を行う。現状、どのような避難方法が最適なのかを考える。
 ★災害弱者はどのような所で支援が必要なのか。**西信達校区の防災計画が、すべての人にやさしい防災計画になるように**考えていきたい。色々なアイデアを出していきましょう。色々な立場にたって意見を言い合ひましょう。

到達目標	ディスカッションをくり返すことにより、西信達校区の防災リーダーとして、災害が発生した時に行動・声掛けができるようになる		
発表方法・共有方法		授業時間外での学修指示	
ゼミごとの発表会での情報共有 10月の西信達地域フェスタでの展示&舞台発表		ディスカッションのための資料集め	
担当者からメッセージ			

災害弱者の立場に立って、ディスカッションをしています。災害弱者(災害時要支援者)とけ障がいがある

「こころを広く、助け合う」

たって、話をするのが得意な人。いっしょにディスカッションをしていきましょう。



防災子ども記者クラブ

陸



中小路



北野



岡田



共助（ご近所・地域と助け合う）

西信達の魅力に迫る！ 9月・10月、いざ校区へ！



危機管理課さんのご協力をいただきました。

「こた」は、西信達中学校三年生、防災こども記者クラブです。
もつと十一月、西信達中学校では中間テストや体育大会・文化発表会などさまざまな学校行事がありました。今日の西信達地域フェスタは、かなり久しぶりに開催されることになり、とても楽しみにしていました。西信達中学校二年生は防災学習に力を入れていて、昨年、子ども避難所を開設したり、校外学習で防災センターにいったり、いろいろと経験してきたのですが、みなさんにはあまり知られていません。私達の活動を地域のみさんに知ってもらうために、「newsぼうさい みらい」を創刊することにしました。
西信達小学校の一五〇周年を祝うこの記念の地域フェスタで初・お披露目です。ぜひゆっくりとご覧ください。
今後とも学校での取り組みを地域の皆さんに知っていただくため、不定期でお届けします。

R4年
子ども避難所設置中の
ようすです

「newsぼうさい」
みらい
2023年
10月創刊号

「newsぼうさい」は西信達校区での取り組みを、地域に発信する広報誌です。
発行:2023年
10月29日
企画・編集:
二年生
防災ゼミ

「みんなでたすかる」
西信達・防災の今後に注目！
防災ゼミの活動を紹介します

食に関するゼミでは、防災時に使える簡単なご飯を作っている。そのめんどうメニューを作ったり、簡単な汁、豚汁、パスタなど、れもとても美味しい。ゼミ生の一人は、「私はアレルギーマスターの方なので、災害が起きた時に作ることを考えると、本当に難しいです。失敗の経験を生かして次につなげたいです。」と語り、試行錯誤を続けている。



エコーミトラス症候群について、どのくらいの人が、知っているだろうか。大規模災害が発生したとき、命が失われたら、始まるのは避難所や車中の生活。避難所の生活や中泊が続く。体を動かす機会が減り、体の中に血栓ができてしまうことがある。その血栓が脳や心臓に移動すると、脳卒中や心臓病を引き起こす。命を落とすことになる。このように、命を落とす可能性がある。エコーミトラス症候群予防法を覚えておくのが、助ける助かる。みんなが助かるための企画に注目してほしい。



お知らせ伝言板

災害が起きた時、一番弱い立場におかれるのは誰か、考えたことがあるだろうか。「災害弱者」に活動しているゼミがある。彼らは、車椅子で西信達の校区に出かけ、避難経路の危険地点を確認したり、また、認知症に対する理解をより深める為、WYO(泉南市認知症ケア研究会)が、災害弱者をテーマにしているゼミに、来た。授業の始終の映像、そこでは認知症のおばあさんの行動が映されており、ゼミ生のみんなは改めて認知症について、より深く考え、交流することができたようだった。



地域の防災調査は、昨年は、上町下町、地区別で設置されている防災倉庫を訪問取材したりして記事にまとめていた。また、その際には、各ゼミの活動内容を共有し、防災倉庫では、それぞれの方に倉庫の中身を紹介してもらい、地域フェスタのブースで使ったものを借りさせて頂くなど、地域の防災意識を高めるために協力してもらった。
今後は「みんなでたすかる」を目標に防災・被災の取り組みを学校の内外に発信していく役割を担ってほしい。地域の魅力を知って、新しい情報を伝えるため、現在は、取材先を大募集している。これからは私たちのゼミ生も積極的に活動してほしい。

開講科目名		主担当教員	
防災こども記者クラブ		猪子・中口	
関連教科	国語・社会・音楽・美術・総合	教室	図書室

伝えて届けてひろげてく！

★防災教育チャレンジプランの報告会に参加。
★西信達中学校校区へのフィールドワークを実施。地域の方への聞き込み、調査、取材を行う。民生委員さんや学校応援団さんをはじめ、この地域に住む方々との交流を通して西信達中学校区の隠れた魅力を発見し発信します。
★今後災害が起きた後にも残したいものは何か。地域の魅力に迫りながら安全な避難方法と避難後の生活について実際にはどのような課題があるのか研究・分析。分かってきたことをもとに泉南市危機管理課さんとの連携をさらに深め、必要なことを要望にまとめて提出するなど、より西信達校区密着型の備えを形にします。

到達目標	西信達中学校区の避難計画(案)を泉南市に提案する。地域の魅力を発見し、記事に残すことのできる記録を残す
発表方法・共有方法	授業時間外での学修指示
ゼミごとの発表会での情報共有 10月の西信達地域フェスタでの展示&舞台発表	記事の作成・編集 動画や写真の編集

NEWS ぼうさい
「みらい」を創刊

西信達の校区の魅力を、中学生のみなさんのが起きた時、もしかすると、今見えている景色のようなこの地域の魅力がたくさん詰まった記事が安心して避難し復興まで安全に過ごせる避難生活するのが得意な方。実は写真の撮影に興味から泉南市を動かせる気がする方。そんな全副精力に活動していきましょう！

西信達地域フェスタ

車椅子体験コーナー



防災体験ブースを企画運営





エコノミークラス症候群予防体操体験♪



防災リュックの中身展示&ゲーム



小さいな子から、お年寄りの方、地域の消防団の方など、幅広い世代の方に「楽しく」「防災・減災」について考え、体験してもらうことができました。



防災レシピの紹介 & 配布 ・ 非常食の配布

パネルアンケートで実態調査

レクリエーションの中で、子ども避難所を設営しました。





泉南市危機管理課さん、
学校応援団のみなさんと共に。



学校全体の
総合防災レクリエーション
「たすかる2023」



【防災・減災を切り口としたカリキュラムマネジメント】

総合的な学習の時間に実施する防災学習

校外での活動・外部講師による講演
実習の要素の強いもの

その他の教科性の強い単元

もともと中学校の教育課程に組み込まれて
いる各教科の「単元」の学習において実施

【例】

* 国語

- ① 「泉南市ハザードマップを読み解く」 根拠の吟味（3時間）
- ② 「ことばで命を守る」 魅力的な提案をしよう（2時間） ③
「メディアを比べよう」（2時間）
- ④ 「潮のにおいは」 詩（1時間）
- ⑤ 「防災小説に挑戦！」 構成や展開を工夫して書こう（3時間）

* 保健体育

救命救急法「胸骨圧迫」「固定法」について
（1時間＋3時間＋2時間時間）

* 技術家庭

防災リュックの制作・中身の検討（10時間）

* 理科

地震・津波の仕組み（6時間） 台風仕組み（3時間）

* 道徳

「海と空一檣野の人々」（国際社会の一員）

「行動する建築家 坂 茂」（社会のためにできること）

「避難所にて」（調和のある生活）

「つながりを減災に生かすために」

「リスペクトアザーズ」（個性を尊重する社会）

等



ご清聴ありがとうございました。

